活動の沿革（年度）

2003年

- ＦＤＫグループ環境ポスターの募集と掲載
- 環境報告書 2003発行
- 日本経済新聞社「環境経営度調査」141位
- ＦＤＫ環境負荷化学物質データベース（ＥＣＯ－ＤＢ）の導入
- 富士通環境貢献賞の環境奨励賞受賞

2002年

- 環境報告書 2002発行
- 海外 2工場、国内１社場がＩＳＯ 14001認証取得
- 環境管理部を環境・品質技術センターに改称
- 日本経済新聞社「環境経営度調査」２０８位
- 社内リユースのための「フリーマーケット」拡充
- 各種の全社キャンペーンを展開
  省エネルギーキャンペーン
  環境問題啓発キャンペーン
  コピー枚数削減キャンペーン
  エコドライブ、アイドリングストップキャンペーン

2001年

- ＦＤＫ環境報告書 2001発行
- 日本経済新聞社「環境経営度調査」115位
- 海外協力「国際緑化センター」に参画
- ＰＲＴＲ化学物質管理システム運用開始
- 社内ＯＡ品リユースのための「フリーマーケット」開設

2000年

- 第二期環境行動計画の策定
- 日本経済新聞社「環境経営度調査」へ参画
- 富士通環境貢献賞受賞
- コージェネレーションシステムを導入（湖西工場）

1999年

- 国内外 3工場でＩＳＯ 14001認証取得
- 土壌汚染調査結果の公表
- 土壌汚染対策実施

1998年

- 国内 5工場でＩＳＯ 14001認証取得
- 厦門ＦＤＫが海外工場初のＩＳＯ 14001認証取得
- 環境保護推進部を環境管理部に改称

1997年

- ＩＳＯ 14001認証取得活動のキックオフ
- 環境ニュース第一号発行
- ＦＤＫ環境スローガンの募集・決定
- ＩＳＯ 14001環境管理システムの構築

1996年

- 環境管理標準委員会の発足
- 環境管理標準の制定

1995年

- 全社環境管理規定の制定
- 環境行動計画の策定
- ＦＤＫ環境管理委員会の発足
- 特定フロンの全廃（全工場）
- トリクロロエタンの全廃

1994年

- 「環境憲章」の制定
- 中堅社員向け環境教育の開設

1993年

- 新入社員向け環境教育の開設
- 積層電池中の水銀全廃
- 特定フロンの全廃（いわき電子以外）

1992年

- 環境保護推進部の発足
- マンガン乾電池中の水銀全廃